

# ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2017年12月20日号 (通算第30号)

## 子どものほん (子ども、小学生&中学生)

すぎたとおる作・早川大介画「コミック日本の歴史1 戦国人物伝・織田信長」

ポプラ社 本体 1000円

近所の5年生の男の子に「最近、読んで面白かった本は？」と聞いたらこの本を紹介してくれた。「なんだ、マンガか！」と言ったら、「けっこうまじめにかいてあるよ。歴史の学者にならない人にはこれで十分!!」とはんげきされてしまった。

それならと借りて読んでみた。第1章「尾張うつけ者」、第2章「平手政秀の死」、第3章「天下布武への道」、第4章「長篠・設楽原の合戦」、第5章「本能寺に消ゆ」、続いて「解説」「豆知識」「織田信長関連年表」などと、結構充実している。大人も勉強になった。



## 大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)



中根克明著「小学校最初の3年間で本当にさせたい勉強」すばる舎 本体 1400円

小学校下学年の子どもをどのように育てたらよいかという一種の啓発書である。

「塾や習い事に焦って行かせなくても大丈夫。『家庭』こそ最高の教育の場になる」第1章「小1・小2・小3はとても貴重な大切な時期」、第2章「3年間の読書量で学力が決まる」、第3章「後伸びする低中学年の勉強法」、第4章「遊びをとことん充実させる」、第5章「本当に地力のある子に育てていくために」というキャッチコピーにつられて読んだ。

自分の子育ての方針と実行していること、子どもの将来を考えて勉強をさせていること、これらを振り返る機会を得るためには役立った。著者は自信を持って「こうするべきだ」「このほうがよい」と主張している。しかし、あくまでも「1つの考え方」と受け止め、これに従うのではなくクリティカルリーディング (批判的に読むこと)、クリティカルシンキング (批判的に考えること) が必要である。

## 学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

文部科学省「問題行動・不登校調査 (2016年度)」平成29年10月26日発表

平成28年度のいじめの認知件数は、前年度の約1.4倍に当たる32万3808件と急増している。いじめ防止対策推進法が実施されて4年が経過し、その効果が表れてきたことによると言われている。特に、小学校低・中学年の認知件数が急増している。

ところが、いじめを原因とする自殺者が多くいること、いじめの認知件数が1件もないという学校が全体の31.7%であることに、文部科学省は「これだけ多くの学校でいじめが全くないというのは疑わしい」と指摘している。子どもたちの日常生活を丁寧に見て、早期発見・早期対応を行い、いじめられる子どもを出さない、いじめられている子供を守り抜くことを基本に、子どもの「安心」「安全」「安定」を実現したい。また、教員が原因の不登校が3653人もいて、「教員の誤った指導」や「教員への不信感」が大きいという指摘を真摯に受け止めたい。



★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。